



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 山洋電気株式会社

コード番号 6516 URL <http://www.sanyodenki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山本 茂生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部門担当 経理部部长 (氏名) 田母神 観一郎 TEL 03-5927-1020

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	31,371	△2.1	2,116	7.4	2,363	26.0	1,656	54.5
25年3月期第2四半期	32,030	△14.5	1,971	△30.7	1,876	△31.1	1,072	△61.9

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 3,293百万円 (247.1%) 25年3月期第2四半期 948百万円 (△63.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	26.67	—
25年3月期第2四半期	17.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第2四半期	72,988	44,226	60.6	711.82
25年3月期	68,979	41,495	60.2	667.82

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 44,221百万円 25年3月期 41,491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	6.00	—	9.00	15.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成25年10月28日)公表の「剰余金の配当(中間)に関するお知らせ」を参照してください。

(注)25年3月期の期末配当金の内訳:普通配当 7円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	71,000	10.9	5,700	44.3	5,500	22.1	3,800	28.5	61.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	64,860,935 株	25年3月期	64,860,935 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,736,513 株	25年3月期	2,731,326 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	62,127,003 株	25年3月期2Q	62,132,478 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災からの復興需要や、政府の緊急経済対策の効果などにより回復傾向にありました。一方、中国経済には引き続き成長の鈍化が見られました。

そのような中で、当社グループの主要な販売市場である工作機械、ロボット、半導体製造装置などの設備産業業界においては、需要が伸び悩みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は31,371百万円（前年同期比2.1%減）となり、連結営業利益は2,116百万円（前年同期比7.4%増）、連結経常利益は2,363百万円（前年同期比26.0%増）、連結当期純利益は1,656百万円（前年同期比54.5%増）となりました。

受注高は33,487百万円（前年同期比2.4%増）、受注残高は12,501百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

①日本

日本には、当社および連結子会社の山洋工業株式会社、山洋電気テクノサービス株式会社があります。セグメント売上高は32,724百万円（前年同期比0.2%減）となり、セグメント利益は1,288百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

②北米

北米には、連結子会社のSANYO DENKI AMERICA, INC. があります。セグメント売上高は2,653百万円（前年同期比7.4%増）となり、セグメント利益は141百万円（前年同期比692.2%増）となりました。

③ヨーロッパ

ヨーロッパには、連結子会社のSANYO DENKI EUROPE S.A. およびSANYO DENKI GERMANY GmbHがあります。セグメント売上高は1,857百万円（前年同期比26.0%増）となり、セグメント利益は109百万円（前年同期比25.8%増）となりました。

④東アジア

東アジアには、連結子会社の山洋電気（上海）貿易有限公司、山洋電気（香港）有限公司、台湾山洋電気股份有限公司、SANYO DENKI KOREA CO., LTD. ならびに山洋電気テクノサービス株式会社の子会社である山洋電気精密機器維修（深圳）有限公司、および山洋電気（香港）有限公司の子会社である山洋電気貿易（深圳）有限公司、中山市山洋電気有限公司があります。セグメント売上高は3,829百万円（前年同期比8.3%減）となり、セグメント利益は119百万円（前年同期比86.6%増）となりました。

⑤東南アジア

東南アジアには、連結子会社のSANYO DENKI PHILIPPINES, INC., SANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD. および山洋電気テクノサービス株式会社の子会社であるSANYO DENKI TECHNO SERVICE (SINGAPORE) PTE. LTD. およびSANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD. の子会社であるSANYO DENKI (THAILAND) CO., LTD. があります。セグメント売上高は6,152百万円（前年同期比23.3%増）となり、セグメント利益は390百万円（前年同期比48.3%増）となりました。

また、事業部門別の営業概況は次のとおりです。

①クーリングシステム事業

クーリングシステム製品「San Ace」は、日本国内を中心に、太陽光発電用パワーコンディショナ、電気自動車用急速充放電器、家庭用燃料電池など、環境関連の新市場からの需要が増加しています。また、従来からの大口市場であった通信業界向けの需要は、LTEの設備投資の増加により、国内外ともに堅調に推移しています。

その結果、売上高は8,921百万円(前年同期比17.0%増)、受注高9,382百万円(前年同期比22.8%増)、受注残高2,374百万円(前年同期比32.4%増)となりました。

②パワーシステム事業

パワーシステム製品「SANUPS」のうち、太陽光発電用パワーコンディショナは、国内製太陽光パネルの供給不足や、施工業者の不足による設置工事の遅延により市場拡大が制限され、販売量が伸び悩みました。一方、エンジン発電機、静止型電源装置は官公庁や通信放送業界向けの需要が堅調に推移しました。

その結果、売上高は4,776百万円(前年同期比6.0%増)、受注高6,103百万円(前年同期比1.5%増)、受注残高3,402百万円(前年同期比1.3%減)となりました。

③サーボシステム事業

サーボシステム製品「SANMOTION」は、中国市場での停滞が続いていることから、中国向けの工作機械、一般産業機械向けの需要が低迷しました。一方、半導体関連の設備投資は回復傾向にあり、半導体製造装置業界向けの需要が堅調に推移しました。

その結果、売上高は14,324百万円(前年同期比14.7%減)、受注高14,471百万円(前年同期比7.4%減)、受注残高3,764百万円(前年同期比6.3%増)となりました。

④電気機器販売事業

産業用電気機器、制御機器および電機材料の販売は、医療機器、半導体関連などの一般産業機器については需要の回復が進まず低調でした。一方、太陽光発電用パワーコンディショナおよびその制御盤など、新エネルギー関連の需要が大きく伸び、好調でした。

また、鉄鋼関連事業においては老朽設備更新などの引き合いは、一部先送りとなり低調でした。

その結果、売上高は2,506百万円(前年同期比2.0%増)、受注高2,976百万円(前年同期比16.5%増)、受注残高2,700百万円(前年同期比36.0%増)となりました。

⑤電気工事事業

主な事業分野の製鉄プラント設備関係は、新規建設工事の引き合いが縮小し、補修工事も低調でした。

しかしながら、太陽光発電設備の機器、工事設計を含む一括施工の需要は依然活発で、多くの工事が完成しました。

その結果、売上高は842百万円(前年同期比29.9%増)、受注高553百万円(前年同期比35.6%減)、受注残高258百万円(前年同期比51.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産で4,009百万円の増加、負債で1,278百万円の増加、純資産では2,730百万円の増加となりました。

総資産の主な変動要因は、現金及び預金の増加2,032百万円、受取手形及び売掛金の減少1,512百万円、投資有価証券の増加792百万円によるものです。

負債の主な変動要因は、支払手形及び買掛金の増加1,085百万円、短期借入金の増加167百万円、長期借入金の減少155百万円によるものです。

純資産の主な変動要因は、利益剰余金の増加1,097百万円、為替換算調整勘定の増加1,133百万円によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、11,455百万円となり、前連結会計年度末より1,722百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動による資金の増加は、3,355百万円(前年同期間は3,120百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,192百万円、減価償却費1,007百万円、売上債権の減少額2,007百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動による資金の減少は、1,558百万円(前年同期間は502百万円の減少)となりました。これは主に、生産設備等の有形固定資産の取得による支出996百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動による資金の減少は、830百万円(前年同期間は2,629百万円の減少)となりました。これは主に、長期借入れによる収入477百万円、長期借入金の返済による支出648百万円、配当金の支払額557百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年4月25日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,163	12,196
受取手形及び売掛金	19,540	18,028
有価証券	48	27
商品及び製品	3,909	4,685
仕掛品	3,201	3,329
原材料及び貯蔵品	5,639	5,919
未成工事支出金	121	142
未収入金	503	584
繰延税金資産	751	799
その他	360	917
貸倒引当金	△30	△35
流動資産合計	44,209	46,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,743	8,818
機械装置及び運搬具（純額）	1,949	2,242
土地	6,373	6,437
建設仮勘定	527	584
その他（純額）	516	712
有形固定資産合計	18,110	18,794
無形固定資産		
	578	549
投資その他の資産		
投資有価証券	3,729	4,521
繰延税金資産	6	7
その他	2,372	2,547
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	6,079	7,047
固定資産合計	24,769	26,391
資産合計	68,979	72,988

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,214	11,299
短期借入金	7,811	7,978
未払法人税等	647	557
繰延税金負債	3	4
役員賞与引当金	66	35
その他	3,642	3,658
流動負債合計	22,386	23,534
固定負債		
長期借入金	2,171	2,015
リース債務	339	373
繰延税金負債	210	455
再評価に係る繰延税金負債	977	977
退職給付引当金	1,050	1,162
その他	348	243
固定負債合計	5,097	5,227
負債合計	27,483	28,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,926	9,926
資本剰余金	11,460	11,460
利益剰余金	20,871	21,969
自己株式	△899	△903
株主資本合計	41,359	42,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188	691
土地再評価差額金	799	799
為替換算調整勘定	△856	276
その他の包括利益累計額合計	131	1,768
少数株主持分	4	4
純資産合計	41,495	44,226
負債純資産合計	68,979	72,988

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	32,030	31,371
売上原価	25,547	24,201
売上総利益	6,483	7,169
販売費及び一般管理費	4,512	5,053
営業利益	1,971	2,116
営業外収益		
受取利息	26	23
受取配当金	52	54
為替差益	—	181
助成金収入	3	29
その他	21	16
営業外収益合計	103	304
営業外費用		
支払利息	59	43
為替差損	128	—
その他	10	14
営業外費用合計	199	57
経常利益	1,876	2,363
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	60	35
投資有価証券評価損	304	116
役員退職慰労金	12	20
特別損失合計	376	172
税金等調整前四半期純利益	1,501	2,192
法人税、住民税及び事業税	420	602
法人税等調整額	1	△66
法人税等合計	422	536
少数株主損益調整前四半期純利益	1,079	1,656
少数株主利益	6	△0
四半期純利益	1,072	1,656

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,079	1,656
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△201	503
為替換算調整勘定	71	1,133
その他の包括利益合計	△130	1,636
四半期包括利益	948	3,293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	929	3,293
少数株主に係る四半期包括利益	19	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,501	2,192
減価償却費	1,030	1,007
売上債権の増減額 (△は増加)	645	2,007
たな卸資産の増減額 (△は増加)	465	△1,051
仕入債務の増減額 (△は減少)	937	422
その他	△559	△535
小計	4,021	4,043
法人税等の支払額	△914	△715
その他	14	27
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,120	3,355
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△572	△996
その他	70	△562
投資活動によるキャッシュ・フロー	△502	△1,558
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,342	76
長期借入れによる収入	—	477
長期借入金の返済による支出	△590	△648
配当金の支払額	△495	△557
自己株式の取得による支出	△0	△4
その他	△199	△174
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,629	△830
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	755
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8	1,722
現金及び現金同等物の期首残高	9,378	9,733
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,386	11,455

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	25,075	2,432	1,453	2,735	332	32,030
セグメント間の内部売上高または振替高	7,725	36	19	1,440	4,657	13,879
計	32,801	2,469	1,473	4,176	4,989	45,910
セグメント利益	1,378	17	87	64	263	1,811

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,811
セグメント間取引消去	160
四半期連結損益計算書の営業利益	1,971

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	23,636	2,620	1,846	2,773	494	31,371
セグメント間の内部売上高または振替高	9,088	33	11	1,055	5,658	15,846
計	32,724	2,653	1,857	3,829	6,152	47,217
セグメント利益	1,288	141	109	119	390	2,051

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,051
セグメント間取引消去	65
四半期連結損益計算書の営業利益	2,116